

二島中学校だより

No.10

北九州市立二島中学校
校長 森 隆

迎春の準備にお忙しいことと存じますが、保護者の皆様におかれましては如何お過ごしでしょうか。生徒たちは、いよいよ冬休みを迎えます。冬休みは大みそか、元旦があります。1年の抱負を胸に、新たな気持ちで希望に満ちた3学期を迎えてほしいと思っています。

また、部活動では、9月中旬から様々な種目で新人大会が開催されています。その結果と努力の成果をお知らせいたします。

バレー部、新人区内大会 女子準優勝

11月12・13日の二日間、若松体育館で 【対洞北中学校：主将 矢野さんのアタック】

行われた若松区の新人バレーボール大会で、女子が準優勝しました。若松区5校でリーグ戦を行い、3勝1敗で区内第二位となりました。石峯中学校にはまだ届きませんでした。若松中・向洋中・洞北中の3校には、全て2セット連取で勝利しました。女子バレー部は、日頃から笑顔で挨拶し、素直で明るい部員ばかりです。試合もチームワークよく、最後まであきらめない姿勢がレシーブに表れていました。12月23・24日に行われる市内大会でも粘りのある素晴らしいバレーを見せてくれると思います。



男子は、若松区3チームのリーグ戦で、若松中・高須中と対戦し2敗しましたが、男子バレー部はこれからのチームです。長瀬先生の指導の下着実に実力をつけていますので、今後に期待したいと思っています。男子も12月23・24日に行われる市内大会に出場しますので、そこでまた成長して行って欲しいと思います。

男子は、若松区3チームのリーグ戦で、若松中・高須中と対戦し2敗しましたが、男子バレー部はこれからのチームです。長瀬先生の指導の下着実に実力をつけていますので、今後に期待したいと思っています。男子も12月23・24日に行われる市内大会に出場しますので、そこでまた成長して行って欲しいと思います。

剣道部、新人市内大会 男女共にベスト8

11月12日に北九州市立総合体育館で行われた新人市内大会で、男女共に、予選リーグを1位で通過し、決勝トーナメントに進出しました。男子は決勝トーナメント1回戦で八幡西区1位の永犬丸中学校と対戦し、惜敗しました。男子は本来なら優勝又は準優勝する実力をもっているが、敗退だけに、大変な悔しさがこみ上げてきた 【対小倉付属中：蛭川さん勝利】

ものと思います。この悔しさをバネにこれからの練習に集中して取組み、夏の大会で市内大会優勝の栄冠を勝ち取ってほしいと思います。女子は、逆に予選リーグを突破できたことは大きな自信につながったと思います。決



勝トーナメント1回戦では折尾愛真中と対戦しましたが、あと一步のところまで惜敗しました。日頃の練習の積み重ねが実を結び、徐々に市内大会上位のチームと戦う実力を身につけてきています。きっと夏の大会までには、県大会にまで進めるようなチームに成長できると信じています。

サッカー部、新人市内大会 1回戦進出

11月19日に新人 【美しい芝生の上で、精一杯プレーしました】

市内サッカー大会が本城陸上競技場で開催されました。つい先日、プロのギラヴァンツがゲームを行った素晴らしい芝生のピッチで行う



ことができたことは、本当にありがたい限りでした。大会1回戦は、門司区の緑丘中学校と対戦しました。残念ながら1対5で敗れましたが、キャプテンであり、エースの永富君が溝口君からのスルーパスを受けてディフェンスラインを突破し、見事ゴールを決めました。これは、今まで夏休みからトレーニングを積んできた成果です。本来なら1点も取れない実力でしたが、点が取れたことは自信をもって良いと思います。必ず来年度の夏の大会に生きてくると考えています。

先月の学校通信でも述べましたが、新人大会は来年度の夏の大会へのステップでもあります。今回の大会の結果とその原因を分析し、これからの練習に生かしていくことが大切です。特に12月～3月までの一冬で皆さんは大きく成長します。毎日の練習を集中してずっとやり続けることが最も大切なのです。その時に顧問の先生の言葉を信じ、自分が今必死にやっている練習が必ず夏の大会に生かされるのだということを信じて頑張る。そして、その練習を楽しむ。苦しくても自分が成長していることを楽しむ。このことが勝利への秘訣であり、何にでも通ずる成功の方程式です。私も皆さんの頑張りを信じて見守りたいと思っています。

バスケット部、新人区内大会 男女アベック優勝！！

12月11日・12日に若松中学校で、区内新人大会が開催されました。男女とも第一シードの二島中学校は、準決勝から出場し、区内第一位の栄冠を勝ち取りました。女子は、全



←【決勝戦：対高須中 83対27
シュートの後、必ずリバウンド】
【準決勝戦：対石峯中 93対25】
↓諦めないひたむきなディフェンス】



く危なげない試合で、準決勝は向洋中学校と対戦し 215 対 13、決勝は高須中学校と対戦し 83 対 27 で圧勝しました。男子は、準決勝は石峯中学校と対戦し 93 対 25、決勝は若松中学校と対戦し 75 対 39 で快勝し、優勝することができました。男女ともに、大差がついても決しておごらず、必死でひたむきにプレーする姿が心に残りました。本当におめでとうございます。

なお、来年の 1 月 14・15 日に北九州市立総合体育館において、新人市内大会が行われます。皆さんの心のこもった応援をよろしくお願いいたします。

進路・高校説明会で、真剣に自分の将来を見つめる！

3 年生が、11 月 14 日に本校体育館にて、進路と高校の説明会を行いました。3 年生にとっては、いよいよ自分の人生の岐路に立つ進路選択が始まりました。来年度から通う高校によって、自分の人生に大きな影響を及ぼします。そのため、高校に関するいろいろな情報を聞き取り、整理していく必要があります。中でもこの日に得た高校の先生からの情報は非常に貴重なものでした。保護者や担任の先生、部活動顧問の先生と話し合いながら、自分に最も合っていると思われる高校を選び、その目標に向かって全力で取り組んでいって下さい。

1・2 年生においては、あと 1 年・2 年後の事です、「先を見通して今を生きる」という事が自分の今を充実した生活につながります。自分の将来のために、今の生活を充実したものにするために日々の授業を、部活動を、掃除を一所懸命にやって楽しみましょう。

渡辺知子一座スクールコンサートで、感動！！

12 月 1 日本校体育館で、「命が光る～決して決して決してあきらめない～」と題して、渡辺知子コンサートを開催しました。渡辺さんは「夢を叶えることを決意することで奇跡的に病を克服した」自分の体験談から始まりました。そして、障害を持つ人や健常者とは関係なく、日々生きる喜びを感じることの素晴らしさ「命の輝き、生きることの尊さ」を教えて頂きました。また、音楽も素晴らしく、いろんなジャンルの歌、様々な楽器を使った演奏を聴かせてくださいました。

生徒の感想文にも感動させられました。

1 年 5 組 吉竹 真弥 ～○○になりたいんじゃなくて○○になる～

渡辺知子さんのコンサートを観て、いろいろなことを感じました。コンサートでは、知的障害のある方々がいろんな練習を積み重ねて中学校の舞台上で披露したので、私も太陽パンの人みたいに努力を積み重ねていろんなことに挑戦してみたいです。手話と歌のリズムが合っていたので、「手話の練習を何度も積み重ねたのだろう」と思いながら聴いていました。私は、最初から最後まで感動しました。

また、渡辺知子さんは、クモ膜下出血で大手術を受け、IQ も 3 歳児まで低下したけど、自分

でリハビリをしてここまで声が出るっていうことは、すごいんだなって思いました。

2年4組 江頭 真歩 ～みんな同じ、今この瞬間を生きている～

私は、放送を担当していたので、少しはやく渡辺知子さんや一座の皆さんにお会いすることができました。そのときに円陣を組んで“オー!!”と言い終わった時、絶対にこのコンサートを成功させるという思いが強くなりました。そしてコンサートは生きる喜びを感じられるととてもすてきな音楽で、みんなも楽しんでいるのが分かりました。知子さんとレンコンさんのトークも面白くて、時間があっという間に過ぎてしまいました。今回、本当に貴重な体験ができたと思います。教えてもらった手話も忘れません!! 本当にありがとうございました。

3年2組 梶原 日和 ～夢は「なりたい」じゃなくて「なる！」～

私は渡辺さんの歌や話を聞いて一番心に残った言葉は、将来何に“将来何になるの?”と言われて「〇〇になりたい」じゃなくて「〇〇になる!」と言う言葉です。私は、今まで将来の夢が決まっておらず、最近決まりました。私の夢は、「看護師になる」です。これから勉強を頑張ろうと思います。腕がなかったり、目が見えなかったり、これは一人一人の個性だとわかりました。LENCONさんが足で手話をしていてすごいと思いました。太鼓もすごいと思いました。最後の歌が心に残っています。フィナーレで、3年の村上君が参加していて面白かったです。

3年4組 林 幸輝 ～決してあきらめない～

ぼくは、このコンサートを観てすごいなと思ったことがありました。障害者でもたくさんの方がいるんだなということです。そして、いろいろなことに全力で取り組むことが大切だと観て感じました。ぼくは、コンサートで活躍していた方々と同じように、中学校生活の中でいろいろなことをあきらめないで取り組んでみようと思いました。これからも次の学校に向けてあきらめないようにがんばろうと思いました。コンサートを観て本当に良かったと思いました。

北九州市児童生徒読書感想文で、優良賞受賞!

平成28年度北九州市小・中・特別支援学校児童生徒読書感想文において、本校の「山内琉緒」さんが優良賞を受賞しました。題名は「差別のない自由な世界へ」で、南アフリカ第八代大統領のネルソンマンデラ氏から学んだ内容ですが、中学校1年生の作品とは思えないくらい素晴らしい文章であり、しっかりした考えが述べられています。

「差別のない自由な世界へ」 1年3組 山内 琉緒

「ネルソン・マンデラ」に興味を持ったのは、家で見たニュースがきっかけです。それはアメリカで、銃を持っていなかった無抵抗の黒人が警察官に銃で撃たれ、殺されたという事件でした。肌の色が違うという理由で殺されたのです。私は警察とは人々を犯罪や危険から守り、平和にするという職業で尊敬していました。しかし、この事件では警察官が相手を差別したうえ、さらに殺人をおかしたのです。ショックでした。そこで、私は人種差別について調べることにしたのです。これが、ネルソンマンデラという人を知ったきっかけでした。

マンデラは、人種差別であるアパルトヘイト廃止にむけて、非暴力運動を行い逮捕されました。しかし、釈放され大統領となり、アパルトヘイト廃止を実現させたのです。南アフリカを平和へと導いたマンデラは、大変な人生を歩んできました。私が一番印象に残っているのは、アパルトヘイトを進める政府に立ち向かって、非暴力で反アパルトヘイトを訴えてきたマンデラが捕まってしまうところです。マンデラは、南アフリカが平等な世界になるようにと運動していました。この運動を進めていき、それが政府に見つかれば逮捕されるため、家族とも離れ逃亡していました。逃げていたのですが、国際会議から帰国すると警察が待ち構えていて、捕まってしまったのです。刑は終身刑でした。マンデラは、終身刑を言い渡されてもあきらめることはありませんでした。その様子はむしろ、楽しんでいるように感じます。刑務所の中でアフリカーンス語の勉強をして、看守の人と仲良くなったり、チェスやチェッカーのトーナメントをしたりして、皆が楽しく過ごせるようにリーダーシップをとっていたからです。

私にそんなことができるだろうかと考えてみました。自分は正しいことを言って運動を続けているだけなのに、終身刑となったら絶望してしまうでしょう。そして、アパルトヘイト廃止は諦めてしまうのではないかと思います。差別されている黒人が入る獄中は、寝る時は毛布一枚、まずくて少ない食事、気温が五度以下の真冬でも薄い衣類一枚で、排便は室内のバケツに済まさなくてははいけません。また、マンデラは採石場の重労働で、強い日差しによって目を悪くしました。そのようなところに死ぬまでいないといけないと思うと、私だったら、死んだ方が楽だとネガティブに考えてしまいます。マンデラのいろいろな活動を知るほど、自分とは比べ物にならないヒーローだと、偉大さを感じました。

また、獄中でもマンデラはリーダーシップを発揮して、囚人のリーダーとなりました。そして、刑務所当局に待遇の改善を働きかけました。「私たちに長ズボンを与えよ」「私たちに、人種に関係なく平等な食事を与えよ」などの要求をしたのです。そのような面からも、人種差別をなくすために獄中でも努力している姿に改めて感激しました。1990年、マンデラは釈放され、アパルトヘイトも廃止されました。マンデラは釈放されても、自分を30年近く劣悪な環境の獄中に入れた白人たちに恨みを持つわけでもなく、分かり合おうとしたのです。本当に素晴らしい人だと思いました。

そして1994年、南アフリカでは史上初の全人種選挙が行われ、「ネルソン・マンデラ」が第八代大統領に就任したのです。また、アパルトヘイト廃絶を平和的に成し遂げた業績により、のノーベル平和賞を受賞しました。

私はこの本を読んで、正しいと思うことは、信念を貫いて行動することで、思いが叶えられるということを学びました。刑務所に入って、自分の人生と命をかけて人種差別をなくすために闘う姿は尊く感じました。

南アフリカの人種差別問題は、マンデラが人生をかけて解決しました。しかし、マンデラの死後も私がニュースで見たように、アメリカなどでいまだに差別があります。ネルソン・マン

デラも南アフリカだけではなく、世界中が平等で平和になってほしいはず。その思いは私も同じですし、強く願っています。それを今の私が行動で示すならば、この思いを「伝えていく」ということだと考えました。世界を動かすようなことはできないかもしれませんが、しかし、差別があるという現状を多くの人に知ってもらうために、伝えていくことはできます。マンデラから教わった行動する勇気を持って、少しでも多くの人に差別について知ってもらいたいです。世界が差別のない自由な国、平和な世界になってほしいと思います。

先生方も勉強しています！

本校の先生方は、生徒一人一人が楽しく授業ができるように、生きる力を身に付けられるように日々授業研究をしています。その一環として、先生方で見せ合い、学び合う「公開授業」を行っています。

○ 12月2日（金）1校時 道徳 3年3組 公開指導者 池本泰久 先生

主眼：真理を愛し、真実を求め、理想の現実を目指して自己の人生を切り拓いていく。

やなせたかしさんが作詞した「アンパンマンのマーチ」の歌詞から“胸の傷”について思い巡らせ、その後、“夢”とは何かを考え、自らの今後の在り方を考える。



池本先生の生徒への思い・願い「人を助けてあげられるアンパンマンになってください。」という言葉がジーンとききました。きっと生徒の一生の財産になるような素晴らしい道徳の授業でした。

また「いろんな考えがあって良い。全てが勉強！」という言葉に

も私は、大きな感銘を受けました。先生の「一生勉強！幸せになれよ！」というメッセージがこもっていたようで、温かい思いが伝わってきました。

○ 12月2日（金）6校時 国語 1年4組 公開指導者 木本絹恵 先生

めあて「文節の働きと文節どうしの関係を捉え、文の組み立てを理解しよう。」

文の組み立てについて考えます。文法について学習します。



木本先生の表情が明るく笑顔なので、生徒も楽しく授業を受けている印象でした。「生徒が間違えることを恥ずかしくないように、発問をクイズのように問いかける。そして、一人が正解を言うと先生

から笑顔で褒められるので、また張り切って発言しようとする。」そんな活発な授業でした。他にも生徒が分かりやすくするために、様々な工夫がなされていました。

○ 12月6日(火) 4校時 技術 1年4組 公開指導 長瀬雅美 先生

めあて「のこぎりの使用法を確かめ、木材を効率よく、正確に加工できるようになろう。」

どの生徒も先生の話真剣に聞き、集中して活動していました。そして、自分の作る本立てを丁寧に仕上げようという気持ちが表れていました。

長瀬先生が用意周到に計画し準備されたもので、説明の中で多くの工夫がされていました。先生の伝えたい思いが伝わってくる素晴らしい授業でした。



○ 12月7日(水) 2校時 音楽 3年3組 公開授業 安部碧 先生

めあて「豊かな合唱表現をするために、課題を見つけよう。」

【6人組で、合唱のテスト】

合唱のテストでは、テストのポイントや歌詞等を白板に掲示し、それを見せながら、6人組で合唱させるなどの工夫をしていました。

また、テストを受けていない人達にも活動できるよう配慮されている先生の熱意の伝わってくる授業でした。



○ 12月7日(水) 3校時 数学 1年2組 公開授業 上嶋弘幸 先生

めあて「描いた絵の面積を求める方法を説明しよう。」

【面積を求める方法の説明場面】

【先生の発問に的確に答える場面】



上嶋先生は、様々な工夫をして数学の授業を分かりやすく、興味を持てるようにしてしまし

た。「具体物を使って考えさせる」「様々な方法で答えを導き出す」「班を4人組にして考えさせる」「大きな画用紙を使って書かせる」「いろいろな絵を使って興味を持たせる」など工夫が満載でした。

生徒達もお互いに話し合い、教え合いながら考えを深め、新たな発見ができました。

- 12月8日(木) 2校時 英語 3年2組 公開授業 加藤龍恵 先生
めあて「関係代名詞(主格 who)を使った文に慣れよう。」

ALTのコートニー先生と共に授業を展開し、生徒たちは分かりやすく楽しい雰囲気の中で学習できました。加藤先生の様々な工夫がされていて、かるたゲームやクイズなどで、生徒の興味・関心を引き出し、生徒の笑顔のあふれる活発な授業となりました。



英語は、コミュニケーションを取れるようになることが重要で、そのために楽しい雰囲気でも学習することも必要なのです。

- 平成28年12月8日(木) 3校時 3年1・2組 公開授業 池本正義 先生
めあて「持久力をつけ、サッカーの動きを持続させよう。」

【準備運動：腕立て伏せ】



2時間目後の休み時間残り5分で整列し、全員で号令をかけながらランニング、全員で号令をかけラジオ体操、腕立て伏せ、腹筋、馬跳びの順でアップを行いました。

【持久走：1500m走】



持久走の準備をしてスタート場所へ移動し、7週半1500m走開始。生徒は全力疾走。自己のベスト記録を出すように必死で頑張りました。

【サッカー：8対8+ゴールキーパー】



持久走が終わってから数分後に、2コートでゲームを行われました。どの生徒も必死にゴールをめざし、ゴールを守り、相当な運動量となりました。

池本先生は、熱い思いをもって日々体育授業の準備や指導の工夫をしています。その思い・姿勢が生徒に伝わり、信頼感があるからこそできた素晴らしい授業でした。